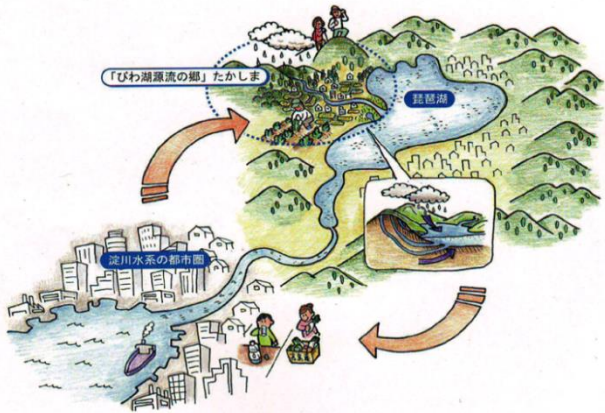


# 「NPO法人eネットびわ湖高島」について



## 琵琶湖の源流と 淀川水系の 住民とがつながり お互いの安全・安心の暮らしが守れる 仕組みを作りたい！

### びわ湖源流の郷 たかしま

高島市は、琵琶湖に注ぐ総水量の38%の水を生み出す地であることから、「びわ湖源流の郷」としての魅力を活かしたまちづくりを進めています。高島市の森林から生み出された豊かな水が、地域の魅力を生み出し、琵琶湖に注ぎ、下流域の人々の生活を支える源となっています。

今まで高島に暮らす人々は、豊かな自然や貴重な歴史資産を守ろうと意識して暮らしてきたわけではなかったと思います。ですが、少子高齢化に伴う多くの問題を抱え、里山などが荒れる現状を見ると、これからの私たちは、積極的に、そして意識して、こうした高島市の豊かな自然や、歴史・文化資産などを守っていくと共に、安全・安心の暮らしのための取り組みが重要になってきます。

そして、市民一人一人が力を合わせ、同時に大都市圏に暮らす人々に田舎体験や安全・安心の食や暮らしなどを提案し、双方が力を合わせて“守るという視点”ではなく、守ることが同時にお互いの暮らしを豊かにすることに繋がることを自覚して生活できたらと思います。

### 団体紹介

「NPO法人eネットびわ湖高島」は、地域（経済）活性化のために次の様な活動を行います。

- ・市外からエコツーリズム観光誘客を図るため、インターネットを活用した情報発信に努めます。
- ・観光誘客の次のステップとして都市住民と高島市民との交流を目指し、最終的には定住促進につながる様に活動します。
- ・「地産外商」の為のネットショップを開設し、実際に成果を生みだせる手法を確立するための戦略的実験に取り組みます。
- ・市内市民活動団体に対して ICT 技術を駆使した活動の後方サポート（中間支援業務）を行います。
- ・高島市内の若い世代に「びわ湖源流の郷」に誇りと自信を持ってもらうために、高島市をより深く知ってもらう草の根活動を展開します。
- ・高島市の豊かな自然や貴重な文化・歴史資産を後世に残すため、そして安全・安心の暮らしを目指して公益的な活動を行う市民団体を応援するため、2017年までに市民活動基金（ファンド）創設を目指します。

### ★ 基金(ファンド)運営

市民活動基金(ファンド)創設準備活動（認定NPO法人格取得）

情報発信活動・中間支援活動・青少年向け草の根活動

NPO法人設立 ★

2012 2013 2014 2015 2016 2017 2018



平成24年4月よりNPO法目的規定に認定・仮認定制度が導入され、個人が認定NPO法人に寄付した際には寄付金の最大50%の寄付金控除を受けられ、また法人が寄付をした場合の損金算入限度額も拡大されました。同時に、NPO法人が認定を受けられる条件も緩和され、広く市民からの支持を得ている要件（例えば 3千円の寄付金を100人から3年間に渡って集める実績を積み等）を満たすことで認定を受けられるようになりました。認定NPO法人になるには最低3年間の実績が必要ですが、上記に述べた様に寄付税制優遇が受けられることから、基金（ファンド）創設のハードルが下がりました。